



2020年1月6日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

2019年11月1日、保団連中央要請行動、また衆議院第2議員会館で「消費税10%増税は撤回！11・1国会内集会」が開催された。三重協会から梅村副会長が参加した。

午前中は地元選出国会議員の先生方（主に秘書対応）に要請書を手渡し、引き続き国会内集会に参加した。本田宏氏（NPO法人医療制度研究会副理事長・医師）の開会挨拶に始まった集会は、次々と国会議員の先生方より激励の挨拶があった。トップバッターはALS患者でもある、れいわ新選組の船後靖彦議員で眼球の動きで文字盤の文字を追い、それを付き添いの方が代読された、初めての国会質問を前に緊張しておられたが、「国会の内と外からまず5%に野党の力を合わせて消費税減税を成し遂げたい」との思いを述べられた。次に共産党の大門実紀史議員は「約30年前の消費税導入時には直間比率の是正、見直しのためという名目であったのだが、今の名目の社会保障、財政再建は国民をだますために後から出てきたものである」と語られた。他にも社民党、立憲民主党の先生方より熱い激励の言葉を頂いた。「10%ストップ！ネット」呼びかけ人からは、醍醐聰氏（東京大学名誉教授）、庄司正俊氏（全国FC加盟店協会会長）の発言があり、フロアからも怒りの声が聴かれた。私も発言の機会を得たので、医療機関の損税問題、中でも歯科開業医は年間約87万5000円の持ち出しになると訴えた。住江憲勇氏（保団連会長）の閉会挨拶で集会は終了した。

（三重県保険医協会副会長・梅村忠司）

以 上